

練習課題 NO.16 設計課題 多目的スペースのあるコミュニティ施設[鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)2階建]

1. 設計条件

ある地方都市において、地域住民が気軽に利用できる多目的スペースのあるコミュニティ施設を計画する。なお、この施設は工芸教室等にも利用する。

計画に当たっては、次の点に留意すること。

- ① 敷地内にある既存樹木は、多目的室から眺められるように計画する。
- ② コミュニティ広場は、地域住民が気軽に利用しやすいよう計画するとともに、多目的室と一体的に利用できるものとする。
- ③ メインの利用者のアプローチは、北側道路からとする。

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
- イ. 第一種中高層住居専用地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
- エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造及び階数

- ア. 鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)2階建とする。
- イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。

(3) 延べ面積

必ず「260㎡以上、300㎡以下」とする。(ピロティ、玄関ポーチ、コミュニティ広場、駐車スペース、駐輪スペース等は、床面積に算入しないものとする。)

(4) 人員構成等

管理者主任1人、事務員1人

(5) 要求室

下表すべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

	所要室	特記事項
1階	玄関ホール	ア. 出入口の幅の内法は、1200mm以上とする。 イ. 履物は履き替えないものとする。 ウ. ロビーにも利用する。
	多目的室	ア. 地域住民が集会、催し、展示等に利用する。 イ. 35㎡以上とし、コミュニティ広場と一体的に利用する。 ウ. その他に収納を設ける。
	事務室	ア. 15㎡以上とし、受付カウンターを設ける。 イ. その他に湯沸コーナーを設ける。
	便所	ア. 男女別に設ける。
	多機能便所	ア. 広さは、心々2000mm×2000mm以上とする。 イ. 出入口の幅の内法は800mm以上とする。 ウ. 高齢者・身体障害者・妊婦のほか、乳幼児を連れた人等が利用する。
2階	集会室	ア. 和室15畳とし、押入れを設ける。 イ. 入口に下足入れを設ける。
	工芸教室(1)	・15㎡以上とし、バルコニーを設ける。
	工芸教室(2)	・15㎡以上とし、バルコニーを設ける。
	彫刻教室	・10㎡以上とする。
	湯沸室	・広さは適宜とし、コーナーでもよい。
	便所	・男女別に設ける。

(6) 階段、エレベーター及びスロープ

- ア. 建築物に、2以上の階段を設ける必要はない。
- イ. 建築物内に、必ずエレベーター1基を設ける。
  - ・エレベーターシャフトは、心々2000mm×2000mm以上とする。
  - ・駆動装置は、エレベーターシャフト内に納まるものとし機械室は設けなくてよい。
  - ・乗降ロビーは、心々2000mm×2000mm以上とする(廊下と兼用してもよい)。
- ウ. 建築物内又は敷地内の通路の計画において高低差が生じる場合は、必要に応じてスロープ(勾配は、建築物内 1/12 以下、敷地内 1/15 以下)を設ける。

(7) 屋外施設等

屋外に下記のを計画する。

名称	特記事項
コミュニティ広場	・50㎡以上とし、既存樹木・植栽等を含んでもよい。 ・休憩用ベンチを設ける。
駐車スペース	・車いす利用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。
駐輪スペース	・自転車10台分を設ける。

2. 要求図面等

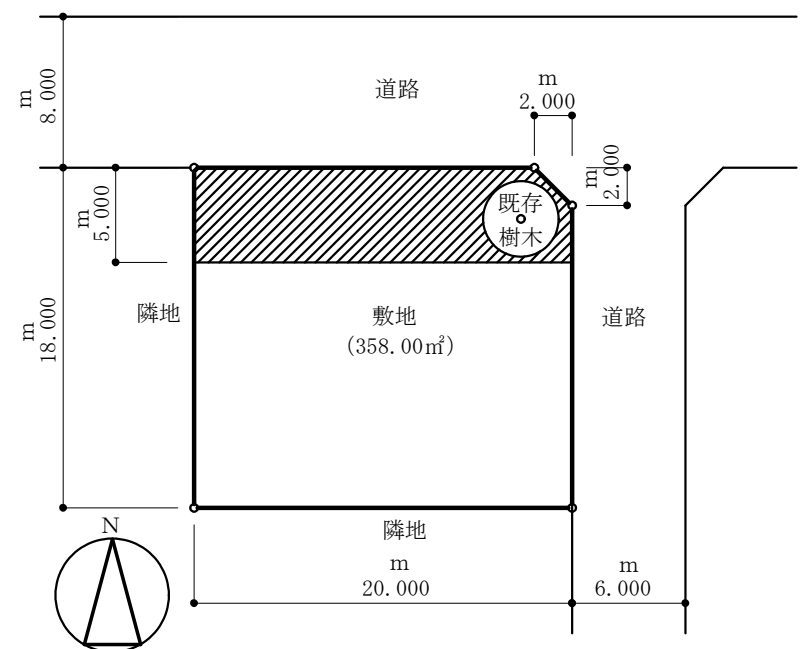
- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mmである。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよいものとする。

(1) 要求図書

要求図書 ( )内は縮尺	特記事項
1階平面図 兼 配置図 (1/100)	ア. 敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 道路から玄関へのアプローチ、門、塀、植栽、コミュニティ広場、駐車スペース、駐輪スペース等を記入する。 ウ. 室名を記入する。 エ. 要求室には、次のものを記入する。 玄関ホールに、テーブル、いす 事務室に、受付カウンター、机、いす 湯沸コーナーに、流し台・コンロ台 便所に、洋式便器、洗面器 多機能便所に、洋式便器、手すり、洗面器、おむつ替え用台 オ. 断面図の切断位置を記入する。
2階平面図 (1/100)	ア. 建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 室名を記入する。 ウ. 要求室には、次のものを記入する。 工芸教室(1)(2)に、テーブル、いす 彫刻教室に、実習台(900mm×2000mm)1台 湯沸室に、流し台・コンロ台 便所に、洋式便器、洗面器 エ. 1階の屋根伏図(平屋部分がある場合)も記入する。 オ. 断面図の切断位置を記入する。
立面図 (1/100)	ア. 北側立面図とする。 イ. 屋外スロープの手摺については、外観で見える場合に記入する。
断面図 (1/100)	ア. 切断位置は、1階の多目的室及び1階・2階それぞれの外壁の開口部を含む部分とする。 イ. 建築物の外形及び床面、天井面の形状がわかる程度のもとし、構造部材(梁、スラブ、地中梁等)を記入する。 ウ. 建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名を記入する。
面積表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
仕上表	ア. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 イ. 内部(多目的室)の主要な部位(床、内壁、天井)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。
主要構造部材表	ア. 主要な柱及び2階床大梁の断面寸法を記入する。 イ. 主要な外壁及び2階床スラブの厚さを記入する。

(2) 計画の要点等

多目的室とコミュニティ広場の計画について、工夫した点を 100~200 字程度で記述する。なお、要求図面に該当箇所があれば引き出し線等により補足して明示する。



- (注) 1. 斜線部分は、建物を計画してはならない。
- 2. 敷地内にある図示の既存樹木(枝張り4.0m)は現在の位置に保存すること。

敷地図(縮尺:1/400)